

ノーモア・ヒバクシャ通信 第5号

発行 2012年10月10日

発行者 ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会
〒102-0085 東京都千代田区六番町 15 プラザエフ 6F
TEL 03-5216-7757 (直通)
Fax 03-5216-7757 (直通)
Email hironaga8689@gmail.com
郵便振替口座 00170-5-694752
(口座名義) ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産基金

(1) 秋の学習懇談会を企画しました

すっかり秋めいてまいりましたが、皆さまにはいかがおすごしでしょうか。次の日程で学習懇談会を企画しております。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

■学習懇談会のお知らせ①

1. 日時：10月14日（日）14：00～16：30
2. 場所：四ツ谷・プラザエフ 5F 会議室
3. 報告者：八木良広さん（慶応義塾大学大学院博士課程終了。社会学博士）

4. 報告の概要：被爆者の戦後史にいかに向き合うか

報告者はこれまで、被爆者は戦後日本社会をどのように生きてきたのかと問うとともに、被爆者の戦後の人生を戦後生まれの若者世代（の筆者）はいかに理解しうるのかについても考えてきました。昨年度作成した博士論文では、前者の被爆者の戦後のあゆみに関する考察を主軸に据えながら、後者の報告者自身の認識の変遷も明示しました。「被爆体験の継承」を意識した結果、報告者がいかに被爆者を認識してきたか・しているかという状況認識を含み込んだ形で論じていくことが必要だと痛感したためです。いまだ実験段階ではありますが、この試みの意義はあると思っています。学習会では被爆者の戦後史についてだけでなく、それに対する向き合い方も含めて、参加者のみなさんと議論を交わし考えていきたいと思っています。

■学習懇談会のお知らせ②

1. 日時 10月20日（土）13：30～16：30
2. 場所：四ツ谷・プラザエフ 5F 会議室
3. 報告者：宇吹暁先生（元広島女学院大学教授）

1970年 広島県総務部県史編さん室指導主事

1976年 広島大学原爆放射能医学研究所助手

1989年 広島大学原爆放射能医学研究所助教授

2001年 広島女学院大学教授（～2011）

4. 報告の概要：原爆被災資料の収集・整理・保存の過去・現在と課題 ～私の個人的体験から～

原爆被災資料に関する研究の第一人者である宇吹先生の、これまでの豊富な蓄積の中から、①原爆資料の概要と②資料分類・整理などの技術的な経験談、の二つの柱でお話いただく予定です。

既存の施設、研究機関等における原爆関連資料の収集・整理・保存の現状を把握することは、当会固有の役割・課題を明確にしていくうえで不可欠の前提です。ともに学び考え合う場にしたいと思います。

ともに参加費無料。参加される方は事務局までメールまたはFAXでご連絡ください。

（2）資料収集作業が本格的に始動しました

小さいながら資料収集・整理のための準備室（杉並区阿佐谷）を確保できたことから、資料収集作業グループは9月22日にプラザエフ5F会議室で打ち合わせをし、懸案の作業を急ピッチで進めていくことを確認。順次実行に移しています。

1) 当面の資料収集の方針———どういう観点で、何を集め、どのように進めていくか

① この作業部会では、被爆者運動（史）関連資料を中心に収集。当面は、すでにお問い合わせある故・藤平典さん（日本被団協代表委員）、故・嶋岡静男さん（同国会対策委員長、三重）、増岡敏之さん（詩人）などの資料を整理しながら、収集・整理・目録作成の方針を具体化していきます。

② そのために、資料館・追悼祈念館などの様式を参考に、内藤弁護士とも相談のうえ、会としての資料寄贈のお願い状、申出書、受領書の様式を作成しました。

③ 年度内の課題として、次の方々に早急に連絡をとり、資料の現状を確認し、協力をお願いします。

故・田川時彦さん（東友会事務局長、個人でも資料室をつくろうとしておられた。千葉）、須藤叔彦さん（被団協創設時からのメンバー、群馬）、山口仙二さん（日本被団協、長崎被災協創設時の資料、長崎）、故・杉山秀夫さん（静岡県被団協創設時、県内被爆者の調査資料など）

④ 各都道府県被団協への資料の現状把握（アンケート）のお願い

事務所のある県はよいが、個人の自宅のところは引継ぎもなされていないことが多く、各都道府県被団協に資料収集をはじめたことを早く知らせ、協力を呼びかける必要があります。

10月4日の被団協の代表者会議で、会のとりにくみを知らせる資料（必要な資料を明示：会で発行した独自の出版物、会報、ビラ、ちらし、写真など）を配布し、岩佐代表理事から紹介し協力を呼びかけました。その後、被団協と連名で、各県に協力のよびかけと現状把握のアンケートを送ることにしています。

2) 資料準備室を利用するの当面の作業の進め方について

- ① 被爆者運動（史）資料の整理 ⇒ 1) -①について、担当者を決め実行中。
- ② 資料の整理の仕方、目録の項目・分類について、いくつかの例を参考に検討。
- ③ 被団協保管の資料については、別チームをつくって整理する。
- ④ 作業要員の確保について、大学関係者に協力をお願いし、学芸員の実習などとして手伝っていただける可能性もある。どのようにやれるか相談する機会をつくることに。
- ⑤ 資金について：高木仁三郎科学財団の研究助成金（12月募集）への応募を検討してみる。

【次回、作業グループ打ち合わせの日程】

11月17日（土）13：30～ 於・阿佐谷の準備室

資料の収集が進みだし、その整理（資料目録の作成など）のための作業要員の確保が最大の課題となっています。阿佐谷の準備室でその作業にご協力いただける方、ぜひ、事務局までお申し出ください。

（3）広報ボランティアグループが試験的にインターネット活用を進めます

Webサイトを使った広報の進め方についてボランティアのみなさんと試行錯誤しています。会の広報について一緒に考え、出来るところでお手伝いいただけませんか？

次回は10/13（土）14：00～四ツ谷・プラザエフ5F会議室で3回目の打ち合わせを行います。ホームページやブログの開設・運営の経験のある方にぜひご協力いただけないでしょうか。

（4）第2回理事会のご報告

2012年度の第2回理事会を10月6日に行い、7. 15NPO法人設立記念集会などこの半年間の取り組みを振り返り、原爆関連資料収集の促進など今後の課題について討議しました。

今回の理事会では、主に次の諸点が確認されました。

- i) 原爆関連資料の現状把握を被爆者運動史関係をはじめ各分野で促進する。
- ii) 「2015年再検討会議、被爆70周年に向け被爆者の声を受け継ぐ大規模な取り組み」について、広く関係者と実行委員会等を発足させ取り組みを推進する。
- iii) 資料センター検討委員会を設置し「資料センターのあり方」の検討を開始する。

**(5) NPO法人ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会設立記念集会
「核時代を生きる～今こそヒバクシャの声を世界に・未来に」報告集が出来ました**

今年7月15日(日)に有楽町朝日ホールで開催した、特定非営利活動法人(NPO法人)ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会の設立記念集会の様子をまとめた報告集ができました。

下記の会のホームページ及びブログからダウンロードすることができます。ぜひご覧ください。

ホームページ <http://www.kiokuisan.jp/>

ブログ <http://tks-forum2011.blog.ocn.ne.jp/hibakusha/>

またホームページが見られないなど、冊子の形でご覧になりたい方がおられましたら、お名前、ご住所、7/15 報告集希望と記入の上、事務局までFAXでご連絡ください。報告集をお送りいたします。ただし大変申し訳ございませんが、おひとりさま一部のみとさせていただきます。

本会の目的・趣旨にそってご活用いただくことを前提に、プリントしたものの配布、PDFデータの再配布に制限はありません。ご自由にお使いいただけて幸いです。

朝夕はだいぶ涼しくなってきました。みなさまも風邪などひかれぬようお気をつけください。